

協 定 企 業 名	ニッポン高度紙工業株式会社
交 流 行 事 名	「ニッポン高度紙工業・輪の森」交流事業
開 催 日 時	平成26年5月18日(日) 午前10時00分～午後3時00分
開 催 場 所	いの町清水程野 ニッポン高度紙工業・輪の森
主な参加者・人数	ニッポン高度紙工業社員ご家族、高知中央森林組合、いの町、高知県 総勢74名
交流行事の概要	<p>素晴らしいお天気の中、第3回「ニッポン高度紙工業・輪の森」交流事業が、いの町清水程野の協定林で行われました。今回の交流活動には、23名の子ども達や日頃から交流のある四国銀行お客様サポート部からの3名の参加者を含む総勢74名が参加しました。</p> <p>開会に当って、いの町の塩田町長から、仁淀川の水やその水を育む森の大切さと間伐を行う際の心構え等についてお話がありました。</p> <p>つづいてニッポン高度紙工業の溝渕執行役員から、紙の製造で一番大事なものは水であり、その水を使う企業として、仁淀川の水を育む森を守る活動を積極的に行っていきたいとお話がありました。</p> <p>次に西内高知中央森林組合長から、間伐作業に際しての手順と注意事項の説明があった後、恒例の記念撮影をして現場へ向かいました。</p> <p>まず、最初に行ったのは間伐体験。現場を2エリアに分けて、それぞれのエリアにある成長が悪く曲がったヒノキを森林組合の職員の指導のもと、ノコギリで間伐を行っていきます。</p> <p>初めて間伐体験をした親子も多く、ノコギリでの慣れない作業は大変だったと思いますが、木が切り倒された時の子ども達の興奮した表情はとても印象的でした。皆さんおつかれさまでした。</p> <p>次に行ったのは、森林生態学習館前の広場に戻っての竹とんぼづくりです。インストラクターの細川さんの指導のもと、各々で、竹とんぼをつくりました。</p> <p>出来上がった竹とんぼで、早速試験飛行！中には飛び過ぎて、屋根の上に引っ</p>



かかってしまったものもありましたが、予め用意していた「はしご」で全て回収！  
記念品として持ち帰ってもらいました。



お昼は吾北地区農漁村女性グループ研究会の方々が用意してくれた創作田舎料理（バイキング方式）をいただきました。地元でとれたこんにゃくや山菜、里芋などを使った創作料理やデザートに皆さん大満足でした。

午後は、アウトドアでのバウムクーヘンづくりに挑戦です。卵は土佐地鶏「土佐ジロー」の卵を使用。インストラクターの指導のもと、生地から作り炭火で焼きあげます。皆さん上手に焼けたようで、小さなお子さんも大喜びでした。



閉会式では、いの町森林政策課の野村課長から、「今年度で3年目となります。皆さんのご協力でこれまで33haの森林（東京ドーム7個分）の整備が進みました。今後も協働の森づくり事業を通じて森林整備や地域住民との交流を図っていきますので、よろしくお願いします。」というあいさつがありました。

最後に、ニッポン高度紙工業㈱の岩村さんから、スタッフの皆さんへのお礼と記念タオルが配布され、交流活動は無事終了しました。

なお、今回、県からの「高知家」のPR、並びに「緑の募金」のご協力のお願いに対し、多くの皆さまからご寄附をいただきました。本当にありがとうございました。



今回、新調したウィンドブレーカー

「<sup>りん</sup>輪の森」での活動に映えていました。